

科学

日時：2021年3月1日（月）13:00-16:30
開催：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

主催：日本学術会議若手アカデミー
地域活性化に向けた社会連携分科会
共催：豊橋まちなか会議、豊橋技術科学大学
後援：公益財団法人日本学術協力財団原田弘二基金

若手科学者が拓く地域と科学の関係

1300 開会挨拶

岩崎渉（東京大学・准教授）

1310 趣旨説明

小野悠（豊橋技術科学大学・講師）

1320-1350 基調講演「地域と科学を結ぶ大学の役割」

大西隆（都市工学 | 豊橋技術科学大学・前学長 / 東京大学・名誉教授）

1350-1420 講演「若手科学者がみる地域と科学の関係」

田中和哉（人工知能 | 政策研究大学院・リサーチ・フェロー）
松中学（法学 | 名古屋大学・教授）

1430-1455 講演「学生がみる地域と科学の関係」

児玉欣輝（建築学 | 豊橋技術科学大学・修士課程）
宮本麟太郎（都市工学 | 東京大学・修士課程）
佐藤寛紀（理論生物学 | 東京大学・博士課程）

1455-1540 講演「豊橋における地域と科学の関係」

駒木伸比古（人文地理学 | 愛知大学・教授）
佐野滋則（機械工学 | 豊橋技術科学大学・准教授）
大村廉（情報知能学 | 豊橋技術科学大学・准教授）

1540-1620 パネル討論「豊橋から拓く地域と科学の関係」

パネリスト：

神野吾郎（豊橋商工会議所・会頭）
寺嶋一彦（豊橋技術科学大・学長）
高山弘太郎（農業情報工学 | 豊橋技術科学大学 / 愛媛大学・教授）
小川直哉（まちづくり | 豊橋まちなか会議・事務局）
他、講演者

コーディネーター：小野悠

16:20 閉会挨拶

加藤千尋（弘前大学・助教）

こちらより事前にご登録ください

https://zoom.us/webinar/register/WN_WOM4VMhDSSeNw949h5_ucw

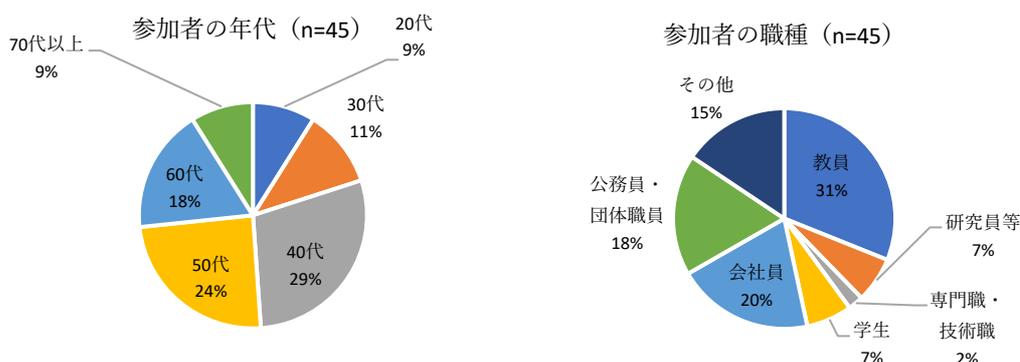


地域

趣旨：人口減少や少子高齢化、災害など様々な課題を抱える地域社会において、知識基盤・人材育成の中核として大学の役割が今後益々求められる。地域をフィールドに学び・実践する学生、自らの知識・技術をつかって地域課題の解決に取り組む若手研究者が増えている。科学する場、教育する場が大学キャンパスをこえて地域に拓くことが、大学のリソースを活用した地域活性化および大学の研究・教育の質の向上に寄与することが重要であろう。社会課題の掘り起こしから解決策の実行、新しい社会価値の提案まで、地域の大学、市民、企業、行政がともに持続的に取り組める仕組みが必要である。今回、様々な専門分野の学生・若手研究者による地域での実践を通じ、愛知県豊橋市の事例から、地域の方々とともに地域と科学のあるべき姿について議論する。

実施概要：全国から年代・職種の多様な 143 名の方々にご参加いただいた（図1、図2）。豊橋を事例に、専門分野の異なる若手研究者の地域への関わりを共有し、地域と科学を結ぶ大学の役割、地域と大学・研究者の連携のあり方について議論を行なった。

※アンケート結果より



当日の様子